

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月23日

【評価実施概要】

事業所番号	0172900805		
法人名	北海道医療株式会社		
事業所名	グループホーム ハッピーヴィラしんまち		
所在地	北海道旭川市6条西1丁目1番2号 (電話) 0166-21-5353		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年10月23日	評価確定日	平成19年11月5日

【情報提供票より】(平成19年10月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)13年12月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	8人	常勤	7人, 非常勤 1人, 常勤換算 6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	9,300円	その他の経費(月額)	27,900~32,550円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000円	

(4) 利用者の概要(10月10日現在)

利用者人数	9名	男性	5名	女性	4名
要介護1	5名	要介護2	2名		
要介護3	1名	要介護4	1名		
要介護5		要支援2			
年齢	平均 85歳	最低	71歳	最高	90歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 吉田病院
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体医療法人を中核として、総合複合施設の中の1ユニットのグループホームである。管理者・職員は、個別ケアを目指して、ケアサービスの質の向上に前向きに取り組まれ穏やかな態度で利用者に接していると共に利用者の穏やかな表情からは安心して自分のペースで過ごせている様子が伺え家庭的雰囲気を感じられた。共用空間には、貼り絵や押し花などの利用者の作品が飾られたり、畳のスペースでは、囲碁や将棋などの趣味が活かせる場となっている。利用者の心身のリフレッシュやストレス解消の為に敷地内でのジンギスカンなどの食事や積極的に外出の機会を多く作り富良野の公園や忠別ダムへのドライブ、公園や堤防などの散歩の支援が日常的に行われている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、注意の必要な物品の保管場所について改善点が挙げられていましたが、薬や洗剤、刃物等の管理については具体的に保管方法、保管場所が明確に決められて適切に実践されていることが確認されました。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、職員の研修の機会として捉えられカンファレンス等で話し合わせケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については運営推進会議で報告され改善の機会として取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在3回実施されています。その議題についてはもし認知症になったら何を望むか? ハッピーヴィラしんまちの取り組み 緊急時の避難訓練について 地域との連携(年間行事の案内について) 次回開催の運営推進会議の要望や取り組みについて
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 「はっぴいしんぶん」を毎月発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、職員の紹介など日頃より情報提供していると共に利用者一人ひとりの家族と「交換日記」を通じて意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、利用者一人ひとりの身体状況や日々の生活の様子、金銭出納についても報告されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会への加入や音楽療法などのホーム主催の行事参加の案内、保育園児との交流や近隣への散歩、スーパーでの買い物、「はっぴいしんぶん」の発行、運営推進会議の開催で地域の人達との意見交換など日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念を職員は常に携帯して、毎月の具体的目標を掲げ「利用者が地域の中でその人らしく暮らし続ける」を支えていくサービスとして実践している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者・職員は理念の重要性を理解して共有し、具体的に毎月の目標を掲げその達成度について話し合わせフォローアップされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会への加入や音楽療法などのホーム主催の行事参加の案内、保育園児との交流や近隣への散歩、スーパーでの買い物、「はっぴいしんぶん」の発行、運営推進会議の開催で地域の人達との意見交換など日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。		次年度は、保育園と縁日などの行事を共催していく計画が話し合われています。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、職員の研修の機会として捉えられカンファレンス等で話し合わせケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については運営推進会議で報告され改善の機会として取り組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在3回開催されている。メンバーは家族、地域の住民代表、地域住民、他施設の介護支援専門員、管理者・職員で構成され地域との連携について具体的に意見交換されている。</p>		<p>今後は、近隣の住民にも参加を呼びかけて火災避難訓練や認知症に対する理解や啓発の為にホーム主催の講座を開催するなどの計画がされています。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は市担当者との連携について十分に理解し、サービスの質の向上に日々取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「はっぴいしんぶん」を毎月発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、職員の紹介など日頃より情報提供していると共に利用者一人ひとりの家族と「交換日記」を通じて意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。</p>		<p>職員の異動については、「はっぴいしんぶん」で紹介されると共に個々の職員については共用空間で紹介されています。また、利用者一人ひとりの身体状況や日々の生活の様子、金銭出納についても毎月報告されています。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>自己評価・外部評価の結果については、運営推進会議で報告され意見を聞く機会を作ったり、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んだり、交換日記を通じて気軽に意見や苦情・相談ができる体制が整いそれらを運営に反映させている。</p>		<p>今後はさらに、ホーム独自の家族アンケートを実施して、ケアサービスの質の向上に役立てていく計画がされている。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>「はっぴいしんぶん」での職員の紹介や共用空間で職員の紹介を掲示するなど家族に情報提供をしている。また、管理者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム協議会での外部研修参加や内部での理学療法士の講習の実施、カンファレンスなどで職場内研修やOJTの実施がされ職員を育てる取り組みがされている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一法人の他施設との相互訪問、見学などの積極的な交流が行われている。また、グループホーム協議会や他施設の見学などケアサービスの質の向上に取り組んでいる。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスが利用できるように入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員も利用者と一緒に食事の準備をしたり、貼り絵やカラオケなどの趣味への支援などセンター方式を利用して利用者の過去の大事な出来事や生活歴を家族と共に協力しながら把握して、本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者一人ひとりの希望や意向を尊重して、散歩や買い物で金銭を使う場面を見出したリ、ドライブなど積極的に外出の機会を多く作ったり貼り絵やカラオケ、編み物、囲碁や将棋などの趣味への支援の取り組みが行われている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに介護計画は作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な内容となっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、3ヶ月に一度計画的に見直しが行われています。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合には散歩や買い物、ドライブなど柔軟に支援を行っている。また、音楽療法への参加や理美容院への訪問など時々々の要望にも対応されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	母体医療法人や利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師や看護師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療機関と連携して、早い段階から利用者・家族とも繰り返し相談しながら慎重に検討対応するよう職員間で共有される取り組みがされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重した言葉かけや対応が行われ、介護記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮された取り組みが行われていました。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	センター方式の「24時間アセスメントシート」で生活歴が把握され職員間で共有されている。また、利用者一人ひとりの希望を尊重してスーパーでの買い物、散歩や食事の準備、貼り絵や囲碁、カラオケなど本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって楽しんで食事の準備や後片付けをしている。また、食事中は和やかな雰囲気を作っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は週3回に決めているが利用者の希望に応じて対応している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		脱衣場や浴槽については、問題箇所を洗い出す作業を進めて事故の未然防止が検討されているので、結果を期待しております。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式で一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴が把握され、貼り絵や花壇の手入れ、カラオケ、食事の準備・後片付け、公園の散歩や買い物、気分転換のための芦別や富良野までのドライブなど外出の機会も多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	公園・堤防の散歩やスーパーでの買い物、紅葉狩り、忠別ダムや芦別・富良野までのドライブ、野外でのジンギスカンパーティー、雪祭り見物など気分転換や心身のリフレッシュができるように戸外にでかけられるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、センサーの設置などで鍵をかけないケアに取り組んでいる。利用者が外出する時は、職員がさりげなくついていき安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防火管理者が配置され、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練が年2回実施されています。また、ホットライン・消火設備についても点検が実施されている。</p>		<p>今後は、近隣の住民も参加した火災避難訓練を実施して日頃より協力が得られる働きかけを行う計画がされています。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な食事摂取量が主食・副食毎に記録されている。また、栄養士の指導・アドバイスも受けて献立表に摂取カロリーが数値で記載され支援されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>気になる音の大きさや臭いについては感じられない。また、廊下には椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保され、居間には畳のコーナーが設置されて貼り絵や囲碁、将棋など趣味を活かすことができる場も用意されている。玄関前には、花壇が作られ季節を感じられる花も植えられ職員と利用者が共同で作業できる工夫もされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、自宅で使い慣れた家具や備品などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。また、手作りの貼り絵や押し花などの作品が飾られ一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。